

平成 2 4 年行政事業レビューシート (環境省)										
事業名		我が国の優れた水処理技術の海外展開支援			担当部局庁		水・大気環境局		作成責任者	
事業開始・終了(予定) 年度		平成 2 5 年度～			担当課室		水環境課		水環境課長 北村 匡	
会計区分		一般会計			施策名		3-3 水環境の保全（海洋環境の保全を含む）			
根拠法令 (具体的な条項も記載)		—			関係する計画、通知等					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		我が国の民間企業による、水質汚濁が深刻化するアジアをはじめとする海外への水処理技術(中小規模生活排水処理や産業排水処理、水域の直接浄化等)の展開促進を通じ、世界の水環境改善に貢献する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)		公募を通じて選定した民間事業者による実現可能性調査(FS)や現地実証試験等を支援するとともに、現地のビジネス環境の改善(環境規制執行改善も含めた相手国政府への働きかけなど)、国内企業(特に高い技術を有する一方で情報、人材面等の理由で海外展開を躊躇する中小企業)に対する現地の環境規制やプロジェクト情報の提供、現地企業とのマッチングの機会提供など、継続的に我が国水関連企業の有する優れた水処理技術の海外展開を促進・支援するための施策を実施する。								
実施方法		☐ 直接実施 ☒ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度		
		予算 の 状 況	当初予算	—	—	—	—	73		
			補正予算	—	—	—	—			
			繰越し等	—	—	—	—			
			計	—	—	—	—	73		
		執行額		—	—	—				
		執行率（％）								
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標				単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
		我が国企業の海外展開を通じた海外の水環境改善を目指すパイロット的な取組であることから、本事業実施による定量的な目標を設定することが困難。			成果実績	—	—	—	—	—
					達成度	％	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標				単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
		モデル事業(FS,現地実証試験)等 実施数			活動実績 (当初見込み)	事業数	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
単位当たりコスト		— (円／)			算出根拠	※国際的な水環境問題の改善促進のための検討業務であり単位当たりのコストの設定は困難。				
平成 2 4 ・ 2 5 年 度 予 算 内 訳	費 目		24年度当初予算	25年度当初予算	主な増減理由					
	職員旅費		—	1	入替要求による新規要求					
	環境保全調査費		—	72						
	計		—	73						

事業所管部局による点検				
	評価	項目		評価に関する説明
目的・状況・予算	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。		・「日本経済再生に向けた緊急経済対策(H25.1閣議決定)」にも「成長による富の創出」や「日本企業の海外展開支援」が位置付けられているところ。 ・民間企業の進出支援であるが、官民連携によりより一層の進出機会の拡大が期待できる。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。		
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。		
資金の流れ、使途・費目・	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。		－
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。		
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。		－
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。		
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。		
		※類似事業名とその所管部局・府省名		
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	－			
予算監視・効率化チームの所見				
－	－			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)				
－	－			
補記				
－				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成22年行政事業レビュー	－		平成23年行政事業レビュー	－

平成 2 4 年行政事業レビューシート（環境省）										
事業名		水環境の危機管理・リスク管理推進事業		担当部局庁		水・大気環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定) 年度		平成25年度～		担当課室		水環境課		水環境課長 北村 匡		
会計区分		一般会計		施策名		3-3 水環境の保全（海洋環境の保全を含む）				
根拠法令 （具体的な条項も記載）		環境基本法第16条、第28条、水質汚濁防止法第2条、第3条、第24条の2		関係する計画、通知等		利根川水系における取水障害に関する今後の措置に係る検討会中間取りまとめ（平成24年8月）				
事業の目的 （目指す姿を簡潔に。3行程度以内）		自治体、工場・事業所における、水質事故の再発防止及び原因究明の迅速化等今後の水質事故に備えた危機管理・リスク管理が推進されることで、事故時のみならず災害時における有害物質の流出の際も、水環境の安全・安心が確保され、国民の健康の保護に資する。								
事業概要 （5行程度以内。別添可）		① 潜在的な環境リスクを与えうる物質の抽出及びリスク評価、 ② 環境中における存在状況、工場・事業所からの排出実態等の調査、 ③ 自治体、工場・事業所における危機管理・リスク管理のための方策検討等を行い、自治体等における水質事故に備えた危機管理、リスク管理を推進する。								
実施方法		☐ 直接実施 ☒ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・執行額 （単位：百万円）				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度		
		予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	-	93		
			補正予算	-	-	-	-			
			繰越し等	-	-	-	-			
			計	-	-	-	-	93		
		執行額		-	-	-				
		執行率（％）		-	-	-				
成果目標及び成果実績 （アウトカム）		成果指標				単位	21年度	22年度	23年度	目標値 （ 年度）
		潜在的に環境リスクを抱える物質に関する整理、検討等を行う事業であり、定量的な成果目標を設定することがそぐわない事業である。			成果実績		-	-	-	-
					達成度	％	-	-	-	
活動指標及び活動実績 （アウトプット）		活動指標				単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
		潜在的に環境リスクを抱える物質の洗い出し及びリスク評価や実態調査・危機管理の検討等。			活動実績 （当初見込み）		-	-	-	-
単位当たりコスト		— （円／ ）			算出根拠	潜在的に環境リスクを抱える物質に関する整理、検討等を行う事業であり、単位当たりコストを算出することは不可能。				
平成 2 4 ・ 2 5 年度 予算内訳	費 目		24年度当初予算	25年度当初予算	主な増減理由					
	環境保全調査費		—	93	入替要求による新規要求					
	計		—	93						

